

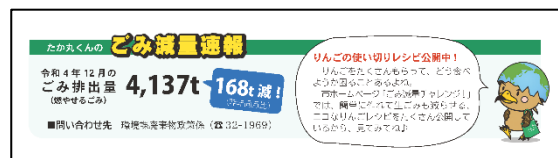
令和4年度廃棄物施策の実施状況について

(1) ごみ減量化・資源化及び適正排出についての普及啓発

①広報誌「広報ひろさき」【継続】

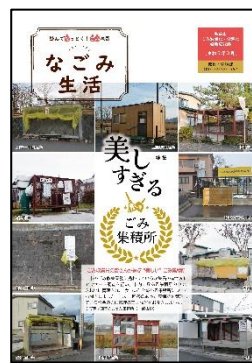
掲載時期	掲載内容
毎月1日号	たか丸くんのごみ減量速報
10/1,1/1,3/1	ペットボトルのラベルはがしについて
4/1	「廃置」の搬入検査の実施と事前の届け出について
5/1	ごみ集積ボックス設置事業費補助金の紹介
6/15	「ミニ・キエーロ」モニター募集
9/1	「スポGOMI大会 in 弘前」参加チーム募集
10/1	【環境ニュース】弘前市ごみ収集アプリのリニューアルについて
12/15	年末年始のごみ処理施設の休業について 不用品のリユース（再利用）について
3/1	引越しごみの出し方（リユース・リサイクルのすすめ）

※農業ひろさき 7/1 号「農業ごみの適正排出」



②ごみに特化した啓発広報誌「なごみ生活」【継続】

配布時期	掲載内容
9/15 広報ひろさき 同時配布	特集：海洋プラスチックごみ ペットボトルのラベルはがしについて 協定締結団体紹介、エコストア・エコオフィス紹介 弘前市ごみ収集アプリリニューアルのお知らせ
3/15 広報ひろさき 同時配布	特集：美しすぎるごみ集積所 キエーロあれこれ 減らそう！プラスチックごみ（エコ容器） エコストア・エコオフィス紹介 ペットボトルのラベルはがしについて



③ごみ分別ガイドブック【継続】

配布等	掲載内容
転入者へ配布 各公共施設へ 備え付け	ごみ出しの基本ルール、ごみの減量化・資源化 資源物の回収拠点、品目別ごみの出し方 ごみ処理施設への持ち込み、ごみ分別一覧表（50音順）



④ラジオ広報 FMアップルウェーブ「行政なんでも情報」【継続】

毎月第1金曜 11:30~11:40頃放送(10分程度)ほか

放送日	放送内容
4/1	畳の搬入届出制について
5/6	ごみ集積ボックス設置事業費補助金について
6/2	ミニ・キエーロ モニター事業について
7/1	SDGs について
8/4	キエーロ普及事業について
9/2	スポGOMI 大会 in 弘前について
10/7	野焼きはやめましょう
11/4	事業活動から生じるごみについて
12/2、12/30	年末年始のごみの出し方について
1/6	冬期間のごみの出し方とお知らせ
2/3	多量ごみの処分について
3/3	ごみの出し方の注意点について

※FMアップルウェーブ「暮らしのゼミナール」10/14放送

「3Rとペットボトルのラベルはがしについて」

⑤ごみ分別収集アプリ【継続】

50音別分別ガイドや、収集日カレンダー、資源物拠点回収マップの機能を搭載した、スマートフォン用アプリを導入し、無料で配信しています。

年度	R1	R2	R3	R4 (~12/31)
ダウンロード数	4,653	3,102	3,004	2,482



基本計画の関連項目 ▶ 普及啓発施策—ア. 広報誌やインターネット等による情報発信 (P. 33)

⑥市町会連合会との協働によるごみ減量等啓発活動【継続】

年度	R1	R2	R3	R4
実施回数	11（会場）	1（書面）	14 （会場 3、書面 11）	9（会場）
参加人数	285	—	310	120

⑦出前講座【継続】

講座名	実施回数	人数
1. ホントは知らないごみのお話 ～減量化って？資源化って？～	8	167
2. ごみの分け方出し方（事業所版）	—	—
3. 地域のみんなではじめよう再生資源回収運動	—	—
合 計	8	167

※令和元年度 19 回、令和 2 年度 5 回、令和 3 年度 5 回実施



基本計画の関連項目 ▶ 普及啓発施策—ウ. ワークショップ型勉強会などによる周知啓発(P. 34)

⑧スポGOMI大会の開催【継続】

スポーツとごみ拾いを掛け合わせた、年齢・性別を問わず多くの方が参加できる競技であるスポGOMI大会を市内で開催することで、ポイ捨てなどごみ問題を考えるきっかけづくりとし、若年層や普段環境問題に関心のない層の環境意識向上を図りました。

年度	R2	R3	R4
参加チーム	16	24	22
参加人数	63	99	85
回収量 (kg)	14.14	26.61	27.49



⑨イベント会場でのエコステーション設置・エコ容器の活用【拡充】

イベント会場に分別を補助する人を配置したエコステーションを設けることで、イベント時に発生するごみの適正処理を促しました。

また、「2022 津軽の食と産業まつり」においてエコ容器を活用したモデル事業を実施し、来場者の環境意識向上を図りました。

津軽の食と産業まつり実績

エコステーションによる資源回収量 (kg)	エコ容器によるごみ削減量 (kg)	CO ₂ 削減量 (kg)
30.74	78.46	164.77



(2) キエーロ普及啓発

①ミニ・キエーロ【拡充】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化に向けて、生ごみ消滅型処理ボックス「ミニ・キエーロ」の普及啓発を行いました。

内容	対象	配布数 (1月末時点)
モニター事業	市民	480
キエーロ活用モデル事業	上松原町会	66
新生活応援キャンペーン	市内転居者、転入者	5
廃棄物減量等推進員 キャンペーン	町会長、廃棄物減量等推進員	24
イベントにて配布	スポGOMI大会参加者、 食育シンポジウム出席者	61
合計		636

※モニター事業は令和2年度～令和4年度の累計

②メガ・キエーロ【拡充】

事業所単位でのキエーロ利用促進に向け、大型の「メガ・キエーロ」を製作し、給食提供のある保育園や飲食店などに配布しました。

配布先	保育園	喫茶店	菓子製造	高校	飲食店	自動車販売	温泉旅館
配布数 (1月末時点)	5	2	2	2	1	1	1
合計							14

基本計画の関連項目 → 普及啓発施策一オ. 消滅型生ごみ処理ボックス「ミニ・キエーロ」の普及推進(P. 34)

(3) 電動式生ごみ処理機の貸与【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、電動式生ごみ処理機の貸与を実施しています。

年度	R1	R2	R3	R4 (~1/31)
貸与台数	32	33	35	35

基本計画の関連項目

普及啓発施策一カ. 家庭用電動生ごみ処理機の普及推進 (P. 34)

(4) 食品ロス削減啓発キャンペーン

① てまえどり【継続】

賞味・消費期限切れで購入されずに廃棄されてしまう食品の発生抑制を目指し、市内スーパー等の協力を得て、「てまえどり」などの啓発ポップやポスターを店内に掲示してもらったキャンペーンを実施し、食品ロス削減の啓発を図りました。

実施時期	R3.3~R3.4	R3.12~R4.1	R4.8
協力店舗	26	29	28



② 3010運動【継続】

宴会時の食べ残しによる食品ロスの削減を目的として、忘・新年会シーズンの間、飲食店に「食べきり」を啓発するポスターを掲示してもらいました。

実施時期	R2.12~R3.1	R3.12~R4.1	R4.12~R5.1
協力店舗	41	35	38

基本計画の関連項目

普及啓発施策一キ. 食品ロスの発生抑制・再資源化の推進 (P. 34)

(5) 古紙類回収ステーション【継続】

古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）のリサイクルを推進するため、市内5カ所の公共施設に回収ステーションを設置し、拠点回収を実施しています。

令和元年度下半期から回収ステーションごとオフィス町内会へ加入することで、新たにダンボールを回収品目に加えたほか、令和2年度にはステーションの改装を行うなど、利便性の向上を図っています。

●回収ステーション設置場所（5カ所）

①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎 ④土手町倉庫 ⑤総合学習センター

品目	R1	R2	R3	R4（～12/31）
	回収量（kg）	回収量（kg）	回収量（kg）	回収量（kg）
新聞紙	17,929	16,394	16,131	11,590
雑誌・雑がみ	43,501	49,429	45,654	34,746
ダンボール	862	5,276	8,785	6,177
古紙類合計	62,292	71,099	70,570	52,513



(6) 古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）の行政回収【継続】

古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）のリサイクルを推進するため、平成 24 年度から月 1 回の行政回収を実施しています。回収した古紙類は、資源回収業者に売払い、市の歳入としています。

品目	R1		R2		R3		R4 (~12/31)	
	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)
新聞紙	475,800	5,374,199	410,128	3,449,723	417,070	3,556,013	331,180	2,992,635
雑誌・ 雑がみ	882,090	4,818,483	828,820	2,262,353	799,710	2,299,805	604,820	2,089,734
古紙類 合計	1,357,890	10,192,682	1,238,948	5,712,076	1,216,780	5,855,818	936,000	5,082,369

基本計画の関連項目

普及啓発施策一ク. 古紙類回収の推進 (P. 35)

(7) 使用済小型家電リサイクル【継続】

「使用済小型電子機器等の再資源化に関する法律」の施行に伴い、金属資源を有効利用するため、平成 24 年度から圏域市町村（黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村）と合同で回収ボックスなどによる回収及び中間処理施設でのピックアップ回収を実施しています。

また、圏域市町村と定期的に会議を開催し、効率的・効果的な回収方法について協議しているほか、平成 28 年 3 月に合同で国の認定事業者であるリネットジャパン株式会社と宅配便回収についての協定を締結しています。

※協定の締結は北東北の自治体初、定住自立圏関係市町村による同時締結は全国初

※中国のプラスチック輸入規制の影響で令和 2 年度から小型家電の回収は逆有償化

・回収ボックス設置場所（17 か所）

- | | | | |
|-----------------------------------|---------------|-------------|-----------|
| ①市役所本庁舎 | ②岩木庁舎 | ③相馬庁舎 | ④総合学習センター |
| ⑤ヒロロスクエア | ⑥弘前地区環境整備センター | ⑦ケーズデンキ弘前本店 | |
| ⑧～⑩ユニバース堅田店・南大町店・城東店・松原店 | | | |
| ⑫～⑰市内各出張所窓口回収（石川・裾野・高杉・新和・東目屋・船沢） | | | |

回収量 (単位:kg)	R1	R2	R3	R4 (～1/31)
ボックス回収	3,530	3,648	3,736	3,111
ピックアップ回収	15,904	9,902	10,117	8,055
宅配便回収	3,665	2,044	2,050	1,488
合計	23,099	15,594	15,903	12,654



(8) 衣類回収【継続】

平成 27 年度から市役所などの公共施設に衣類回収ボックスを設置し、家庭で不用になった衣類を回収しているほか、再生資源回収運動の回収品目にも追加しています。

・回収設置場所（17 か所）

①市役所本庁舎	②岩木庁舎	③相馬庁舎
④総合学習センター	⑤ヒロロスクエア	⑥清水交流センター
⑦千年交流センター	⑧北辰学区高杉ふれあいセンター	
⑨イオンタウン樋の口	⑩ユニバース松原店	⑪イトーヨーカドー弘前店
⑫いとく浜の町店		
⑬～⑰市内 5 出張所窓口回収（石川・裾野・新和・東目屋・船沢）		

年度	R1	R2	R3	R4 (～12/31)
回収量 (kg)	134,513	159,917	156,743	125,692



基本計画の関連項目

普及啓発施策一サ. 衣類回収の推進 (P. 35)

(9) 再生資源回収運動【継続】

町会・子ども会・PTAなどの団体が、回収の日時・場所を決め、家庭から出る資源物を回収業者に引き取ってもらう自主的なリサイクル活動に対し、回収量1kgあたり4円の報償金を交付しています。

●回収実績（単位：kg）

品目		年度			
		R1	R2	R3	R4 (~12/31)
古紙類	新聞紙	595,244	453,400	402,698	366,926
	雑誌類	295,383	265,833	232,792	203,719
	ダンボール	380,433	369,234	343,677	300,260
	紙パック	18,520	17,247	15,377	13,229
古紙類計		1,289,580	1,105,714	994,544	884,134
アルミ缶		51,489	48,208	44,773	37,589
衣類・布類		7,680	6,929	6,061	5,225
ビールケース		828	508	250	296
ペットボトル		24,845	25,101	26,421	24,355
びん		26,211	20,293	15,495	14,660
合計		1,400,633	1,206,753	1,087,544	966,259

●報償金交付実績

年度	R1		R2		R3		R4 (~12/31)	
	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)
町会	71	2,217,196	72	1,840,384	72	1,939,020	70	1,559,828
婦人会	9	149,792	9	120,856	9	101,692	8	99,276
PTA	37	2,036,608	37	1,409,048	37	1,359,740	35	1,431,248
幼稚園・保育所	9	116,548	9	91,304	10	61,032	9	37,028
子供会	6	125,936	6	100,240	6	119,808	6	118,528
その他	39	956,452	40	592,932	43	768,884	42	620,288
合計	171	5,602,532	173	4,154,764	177	4,350,176	170	3,866,196

(10) 生ごみ堆肥化容器の斡旋補助【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、町会連合会の斡旋による生ごみ堆肥化容器の購入1基に対し、2,000円の補助金を交付しています。

年度	R1	R2	R3	R4
補助基数	43	35	9	20
補助額(円)	86,000	70,000	18,000	40,000

基本計画の関連項目

経済的動機付けによる施策一ツ. 生ごみ堆肥化容器の購入補助(P. 37)

(11) ごみ減量化・資源化の推進に関する協定締結【継続】

ごみ減量化・資源化を進める上でキーポイントとなる、市民・事業者・行政の協働を強化するため、各市民団体や事業者団体と協定を締結し、それぞれの団体の特色に合わせたごみ減量化・資源化施策を展開しています。

年度	H30	R1	R2	R3	R4 (2月末時点)
協定締結団体 (累計)	2	13	17	20	22

※R2.12.3(株)ジモティーとのリユース活動促進に向けた協定、
R4.7.11 豊島(株)及びオンワード商事(株)とのアップサイクル推進に向けた協定締結を含む。



基本計画の関連項目

市民や事業者の協力による施策一ニ. 各市民団体・事業者団体等との協定締結(P. 38)

(12) 廃棄物減量等推進員【継続】

町内のごみ問題を把握し、ごみの適正排出、分別促進、不法投棄防止のための指導等を行うため、各町内会に推進員を配置しています。

年度	R1	R2	R3	R4 (1月末時点)
設置町会数	282	270	275	279
配置人数	612	600	619	627

基本計画の関連項目

市民や事業者の協力による施策一ヌ. 廃棄物減量等推進員の活用 (P. 38)

(13) ごみ出しサポート事業【継続】

高齢者や障がい者など介護が必要な世帯で、ごみ集積所までのごみ出しが困難となっている世帯を対象に、通常の収集とは別に、市の職員が週1回、自宅前まで収集に伺うごみ出しサポート事業を令和2年度から開始し、ごみ出しに係る負担の軽減を図っています。

年度	R2	R3	R4 (2月末時点)
サポート世帯	89	131	164



基本計画の関連項目

その他一ミ. ごみ出しサポート事業 (P. 40)

(14) 水銀添加廃製品の回収【継続】

平成30年1月から水銀添加廃棄物の適正な分別・回収の促進を目的に、家庭内に眠っている水銀体温計・水銀温度計・水銀血圧計等を回収しています。

回収窓口	本庁舎（環境課）、 市民課駅前分室（ヒロコ3F）、 市民課城東分室、 岩木総合支所民生課、 相馬総合支所民生課、 東目屋出張所、船沢出張所、 高杉出張所、裾野出張所、 新和出張所、石川出張所
------	--



基本計画の関連項目

その他一メ. 処理困難物への対応 (P. 40)

(15) 事業系ごみ適正排出指導【継続】

平成27年度より市のごみ収集運搬委託業者である弘前環境管理協同組合の協力を得ながら、主に店舗兼住宅や小規模事業所を対象に、本来事業系ごみとして排出すべきごみが家庭系ごみとして集積所等に排出されている状況を市内一斉に調査するとともに、排出元を特定し、指導を行っています。

年度	R1	R2	R3	R4 (~12/31)
指導件数 (件)	20	16	38	24

基本計画の関連項目

普及啓発施策一ケ. 事業系ごみの適正分別・適正排出の推進 (P. 35)

(16) 展開検査・搬入規制【継続】

事業系ごみの適正排出を促進するため、平成27年度から弘前地区環境整備事務組合が管理・運営する環境整備センターにおいて、搬入される事業系ごみの展開検査を実施しています。

また、令和元年12月から搬入規制（分別不十分、産業廃棄物混入）を実施し、事業系ごみの更なる適正排出と減量化・資源化を図っています。

展開検査実績		R1	R2	R3	R4 (~12/31)
検査日数		274	220	238	175
台数	可燃	2,138	1,931	1,123	712
	不燃・大型	683	152	55	59



基本計画の関連項目

ルールづくりによる施策一ツ. 焼却施設における展開検査 (P. 36)

(17) オフィス町内会の推進【継続】

平成 22 年度に設立された「弘前地区オフィス町内会」は、一般の会社や事務所、官公庁、病院、銀行などの事業所から排出される古紙類を資源回収業者が無料で回収するネットワークです。

市では、事業系古紙類のリサイクルを推進するため、広報活動などにより、排出事業者会員の拡大を図っています。平成 30 年度末からは、各団体との協定の中で、オフィス町内会への積極的な加入を呼びかけています。

●回収品目及び対象地区

回収品目	(1) 一般古紙（無料） ダンボール、新聞等（新聞、チラシ）、その他の紙 (2) 機密文書（有料）
対象地区	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、 大鰐町、田舎館村、西目屋村

●会員数及び回収実績（弘前市分）

年度	R1	R2	R3	R4 (~12/31)
会員数（累計）	386	405	412	416
回収量（kg）	502,496	612,382	595,037	394,815

●県内 4 地区回収実績推移（単位：kg）

年度	R1	R2	R3	R4 (~12/31)
青森地区	235,842	240,414	237,624	179,845
弘前地区	621,940	760,104	772,811	551,896
西北五地区	67,851	62,045	63,838	56,039
十和田地区	243,645	219,451	221,941	173,708

(18) 一般廃棄物組成分析調査【継続】

ごみの排出状況を把握するとともに、どのような種類のごみがどの程度含まれているか（組成割合）を調査し、更なるごみの減量化・資源化推進のための基礎資料としています。

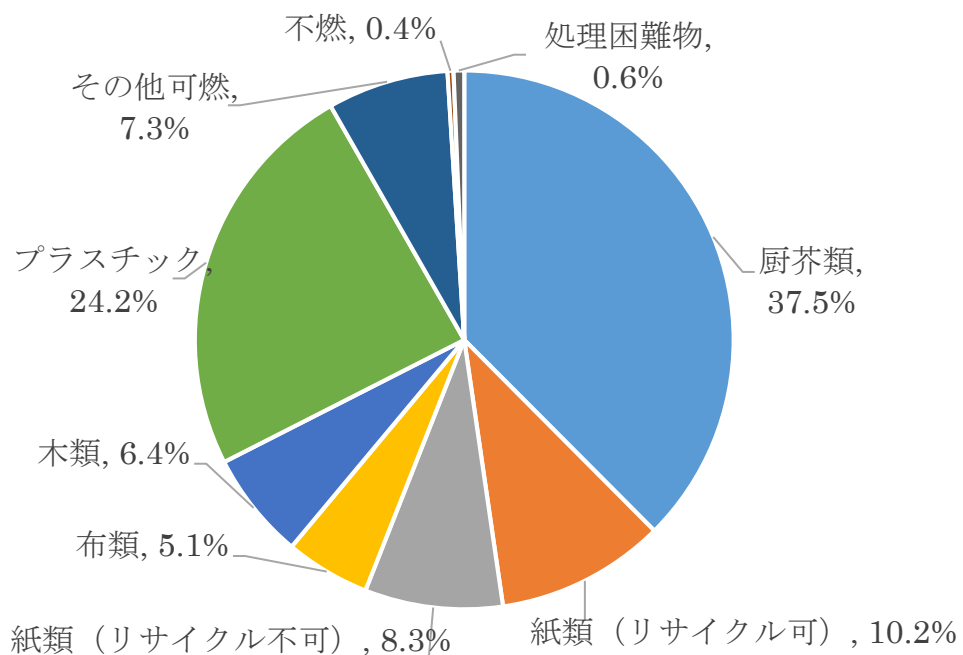
●実施回数

年度	R1	R2	R3	R4
家庭系燃やせるごみ	4回	4回	4回	4回
家庭系その他の紙	—	—	—	—
家庭系雑がみ	3回	2回	—	—
事業系燃やせるごみ	3回	4回	—	—

●想定条件ごとの実施回数（家庭系燃やせるごみ）

年度	R1	R2	R3	R4
学生居住地域	0回	1回	1回	4回
商業地域	0回	0回	1回	0回
住居地域	2回	2回	1回	0回
農村地域	2回	1回	1回	0回
住居兼工業地域	0回	0回	0回	0回

●調査結果（H27～R4 家庭系燃やせるごみ組成分析調査結果）



(19) ひろさきリユース促進掲示板【継続】

家庭で不用になった生活用品の情報を登録し、必要とする方に紹介することで、ごみを減らし、資源物の有効活用を図っています。

品物を譲りたい人（譲ります）、譲ってほしい人（譲ってください）の双方が利用できます。

年度	R2	R3	R4 (2月末時点)
譲ります	6	14	5
譲ってください	5	11	2
成立	18		

